

2025 年度 春季英米文学科 講演会のお知らせ

日時： 6 月 5 日(木曜日) 開場 15:00 開会 15:30

(終了予定時刻 17:30 頃)

会場： 東松山校舎 60 周年記念講堂

講師： 横山 千晶 先生(慶應義塾大学)

講演タイトル:「Who made your clothes?—ヴィクトリア朝の廉価既製服業界と21世紀の私たち」

*当日は、入場の際に受付で「講演会 出席証明書引換券」を受け取り、講演会終了後に「引換券」を受付に提出して「出席証明書」を受け取ってください。

講演要旨

新学期が始まった4月は、ドナルド・トランプ大統領の相互関税導入という混乱と共に幕を開けました。アメリカの貿易赤字の解消、国内産業の保護、国内生産の推進がその主な目的です。しかし、アメリカのみならず、私たちは海外の労働者に頼ることなしに生活することが不可能な世界に生きています。例えば皆さんが今日来ている服は、どこでだれが、どんな状況で作っているのでしょうか。今回は、そんなグローバル経済の発端ともなった19世紀から、私たちの消費生活の現状を考え直してみたいと思います。

横山 千晶 先生 プロフィール

慶應義塾大学法学部教授。専門は19世紀のイギリス文化・文学

著書:『ジョン・ラスキンの労働者教育—「見る力」の美学』(慶應義塾大学出版会、2018 年)、
『コミュニティと芸術—パンデミック時代に考える創造力』(慶應義塾大学出版会、2021 年)。

訳書:ジョン・カーター『西洋書誌学入門』(図書出版社、1994 年)、ウィリアム・モリス『ジョン・ボールの夢』(晶文社、2000 年)、ジョージ・P・ランドウ『ラスキン—眼差しの哲学者』(日本経済評論社、2010 年)ほか。